

科目名	日本語教育学演習	
担当者	◎新内 康子 / SHIN' UCHI, Koko 入佐信宏 / IRISA, Nobuhiro	
科目情報	人間文化<日本語日本文学> / 選択 / 後期 / 演習 / 2単位 / 3年次	
科目概要	授業内容	4年次における卒業論文作成のための基礎能力が身につけられるよう、日本語教育学の日本語教育史・第二言語習得・社会言語学・対照言語学・類義表現の領域に関する問題と論点を知り、それらの問題解決の方法論について考える。
	到達目標	1. 上記の領域に関する論点と分析方法がわかるようになる。 2. 論文の作成方法がわかるようになる。 3. 卒業論文のテーマが見つげ出せる。
授業計画	(1) 日本語教育史の先行研究について (講義) <新内> (2) 第二言語習得の先行研究について (講義) <新内> (3) 対照言語学の先行研究について (講義) <新内> (4) (1)(2)(3)に関する発表 <新内> (5) 同上 <新内> (6) 同上 <新内> (7) 同上 <新内> (8) 社会言語学の先行研究について (講義) <入佐> (9) 対照言語学の先行研究について (講義) <入佐> (10) 類義表現の先行研究について (講義) <入佐> (11) (8)(9)(10)に関する発表 <入佐> (12) 同上 <入佐> (13) 同上 <入佐> (14) 同上 <入佐> (15) 総まとめ <新内・入佐>	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・発表に備え興味のある文献等をできるかぎり多く読むこと。
	事後学習	・発表したこと等以外にも多くの文献を読み、卒業論文のテーマを探し出すこと。
使用教材・参考文献	【教】プリント 【参】関正昭『日本語教育史研究序説』1997年 スリーエーネットワーク 【参】多和田眞一郎編『講座・日本語教育学第6巻言語の体系と構造』2006年 スリーエーネットワーク	
成績評価方法と基準	<方法>授業における積極性 (20点)、発表 (30点)、レポート (30点)、卒業論文計画書 (20点) <基準>上記評価方法により合計が60点に達した者を合格とする。	
備考	日本語教育関連のテーマで卒業論文を書く予定の学生は、3年次後期で受講すること。	